



高知県立高知国際中学校だより

高知県立高知国際中学校

〒780-8052 高知県高知市鴨部2丁目5番70号

2年台湾修学旅行

初めての修学旅行

修学旅行団団長 校長 森本 民之助

本校では第2学年で台湾への修学旅行を行います。この秋に実施した修学旅行が、**本校では初めての修学旅行**です。何から何まで初めてで関係する多くの方々のご理解とご協力があったからこそ達成できたと思っています。関係者の皆さま、ありがとうございます。以下に、修学旅行の概要を報告します。

私たち修学旅行団は、令和元年10月21日（月）から24日（木）、3泊4日の日程で、台湾台北市を中心に探究活動や市内見学、そして台中市にある明道中学との交流等の行程で修学旅行を実施しました。参加者一人ひとりが修学旅行の目的「**新たな価値や概念の創造、地域や国際社会の発展に貢献する姿勢や能力を身につける**」をよく理解し、広い視野をもって台湾（明道中学）の生徒と意見交換ができること、グローバルな集団としてのふさわしい振る舞いをする、日常の学習環境と異なることに触れることを意識して行動しました。

1日目、保護者や教職員に見送られて学校を7:00に出発。高知自動車道、高松自動車道、高松空港、台湾桃園空港、台湾の自動車道路を経て、16:30頃に**台北市の忠烈祠に到着**。そこで衛兵交代を見学しました。その後、台北市のレストランで夕食（小籠包など）をとり、宿泊所（シーザークホテル台北）には予定どおり19:00に到着しました。高松空港で飛行機の離陸が30分ほど遅れたものの現地での天候に恵まれ、飛行機以外は順調で、全員元気に移動しました。



忠烈祠での集合写真

2日目、台北市の天候は晴れ、朝の気温は22℃、穏やかな朝です。各自がホテルでバイキング形式の朝食を済ませ、8:30にホテルを出発。台北駅から9:11発の高速鉄道を利用して約1時間で台中駅に到着しました。台中市の天候も穏やか。台中駅からバスで、明道中学に向かいます。10:40に**明道中学に到着**し、歓迎セレモニーの後、15:30までの**交流プログラム**が始まりました。私たち高知国際中学校からは金属製の折り鶴（土佐匠の技）を、明道中学からはマスコット（MD Bear）のぬいぐるみを今回の記念として交換しました。帰りも高速鉄道を利用して、17:00に台北市に到着。台北駅及びホテル周辺での自由行動の時間の後、18:30にホテルでバイキング形式の夕食をとりました。ホテルの夕食会場を借りて20:00に修学旅行実行委員会、20:30に生徒全体会を行いました。この日も全員が元気に活動できました。

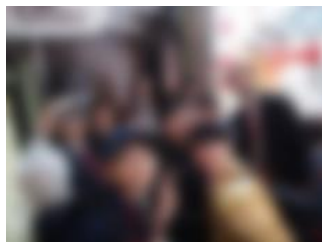
明道中学の生徒と交流
(学校説明)明道中学の生徒と交流
(自己紹介)

3日目、台北市の天候は晴れ、穏やかな朝。午前中は、各グループが**迪化街、中正記念堂、台北101**でのグループ活動です。8:30にホテルを出発し、台北駅の構内広場で活動を支援してくれる台湾の大学生と出会いました。簡単な出発式の後、15班がそれぞれ、**担当の大学生と目的の場所**に向かいました。引率スタッフもそれぞれの持ち場で生徒の安全確保に臨みます。お昼の集合に少し遅れる生徒もいましたが、担当する引率スタッフによって生徒の安全は、常に本部は把握できていました。午後は予定どおり台湾の観光名所である**九份**に向かいました。

14:50に九份に到着。多くの観光客がありバスの駐車場も確保できにくい状態でしたが、約2時間の自由探索をすることができました。日本のアニメ「千と千尋の神隠し」の舞台イメージになったといわれているところだけあって、幻想的な街並みの行まいがありました。17:00に九份を出発し、17:50に夕食会場に到着。生徒数人が乗り物酔いの症状がでて、夕食をとれなかった人もいましたが大事には至らず19:20に無事にホテルに到着しました。



現地大学生と対面



九份を観光



九份の様子

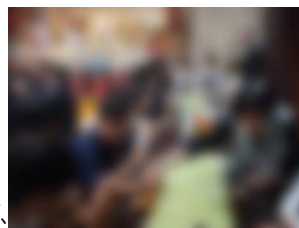


台北101で探究学習

4日目、台北市の天候は晴れ、穏やかな朝。この3日間で集団としての行動が早くなり、各自が朝食を済ませ、予定どおり9:05にバスでホテルを出発。途中、土産の店に寄り12:30に台湾桃園空港に到着しました。

台湾でお世話になった現地ガイド2人と別れ、12:50には出国手続。手続後は自由行動。土産を買い足したり昼食をとったり空港を楽しみました。出国手続後には両替所が2か所しかなく、一部の生徒は両替に時間を取られました。14:00に搭乗口の待合場所で全員が身なりを整えて解散式に臨みました。団長からの「**修学旅行が成功したといえるためには全員が無事に高知に帰ること、よくそのことを意識して行動してくれた。とてもよい修学旅行になった。**」という趣旨の挨拶があり、添乗員さんと看護師さんに礼を述べ解散式を終えました。

帰りの飛行機は14:30（台湾時間）に離陸しました。九州上空あたりから低気圧に入り、高松空港への着陸は少々揺れましたが、無事18:30（日本時間）に到着。あいにく高松空港からは雨天となりましたが、最後のバス移動中も生徒たちは元気で賑やかでした。高知国際中学校には20:45に到着。遅い時間、雨模様にもかかわらず、保護者の方々と教職員の出迎えがありました。バスが到着したとき、迎えの方々から拍手をいただきました。



台湾茶 体験

今回の研修旅行では、生徒が修学旅行実行委員会を組織し、修学旅行のしおりを作成、目的や行程などを全員が共有できたこと。台湾の中学との交流、班別探究活動、観光地探索など盛りだくさんの内容でしたが、**修学旅行団全体が前向きに取り組み、積極的な活動ができたこと。そして、天候にも恵まれ、事故や事件にあうことなく安全に旅行ができたことは本当によかったと思います。明るい雰囲気の中で高知国際中学校の一員であることを誇りに思う修学旅行でした。**また、引率者（教員）は、秩序ある集団づくりと充実した行動ができること、危機管理を常に意識していました。

添乗員、看護師、保護者の皆さま、学校に残った1年生や教職員など関係するの方々のお陰で修学旅行を無事に終わることができました。心からお礼を申し上げます。ありがとうございました。

<授業アンケート特集>

生徒による授業アンケートについて、取りまとめをしましたのでお知らせします。なお、詳しいデータはホームページをご覧ください。

授業アンケートについて

授業は、生徒が分かることや知ることなどの楽しさを感じ、自ら学ぶことを認識して成長する意識を醸成する環境が必要です。本校の教育課程は学習指導要領に則って編成します。学習指導要領の示す方向と国際バカロレア教育の目指す方向は同じ方向と認識し、各教科の指導目標はこれらのことを念頭において設定します。

各教科は、各教科の特性をよく把握し、生徒が内容を理解するために方法を獲得することを第一に考えて授業を設計します。内容のまとめごとにゴールを設定し、それを生徒と授業者が共有します。

各教科によって授業形態に違いがあることや、生徒一人ひとりに理解の仕方や分かるタイミングなどに違いがあることを承知し、状況に応じた適切な授業形態をとります。いかなる授業形態であっても、意識はゴールを向いています。

この度授業アンケートを下の1、2のとおり実施しました。その集計と授業者のコメント（一部）を3以下にお知らせします。これらの結果を受けて、今後の授業改善に役立てていきます。

1. 実施に関する概要

- (1) 実施時期 令和元年度7月16日（火）～23日（火）
- (2) 実施対象科目 国語、地理、歴史、数学、理科、音楽、美術、体育、技術・家庭、英語
- (3) 回収数と回収率 77人/120人（64.6%）

2. 質問事項一覧

- (1) この授業は探究活動が中心となっていましたか？
- (2) この授業を受けることで概念に関する理解は深まりましたか？
- (3) この授業の探究テーマはあなたの学習意欲を高めましたか？
- (4) この授業での教員の解説の量はどうでしたか？
- (5) この授業の満足度はどのようですか？

3. 集計に対する各教科のコメント（一部）

- (1) 国語：単元の最初に重要概念の説明を行なう。文法学習に関しては、課題を提示する際、生徒用のシートにもどのストランドをどのように評価をするのか、明記する。また、課題提示のタイミングについても単元の最初に行なうようにする。

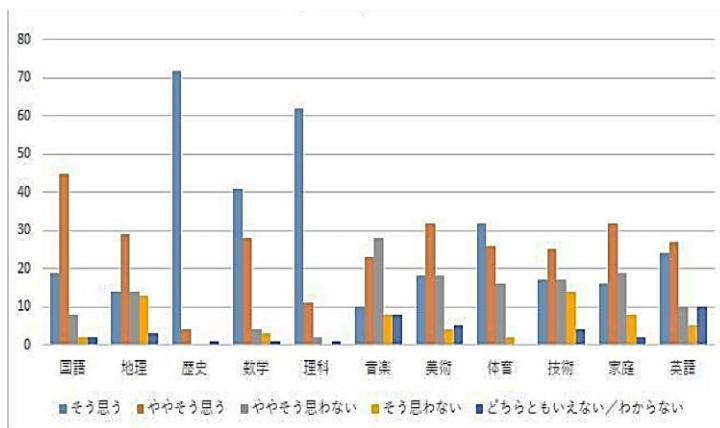
- (2) 地理：自分で考え、その考えを共有したり新たな考えに出会ったりする機会を作ることができていない
- (3) 歴史：ユニット（※学習単元）においては、学習している概念を実際に使う場面を増やすことで共感・納得することができる機会を増やすことが、評価の改善につながると考えられる。
- (4) 数学：数学では日常問題（＝探究課題）を通じて概念や探究テーマを深めていくが、どのように繋がりがあのかを意識させながら進めて行くことも課題である。
- (5) 理科：答え合わせに関しては、「全員で解答を作る」ということを日々目標にしているため、教員の解説ということ意識的にあまりしない様になっている。同様の内容も、検索すると出てくることも多い。教科書の参考ページはスライドにも、前にも記述しているつもりであったが、もう少し確認できる方法を検討する。
- (6) 芸術：アンケートの「探究活動が中心となっていましたか？」の「探究」そのものを生徒が理解できるようにする。
- (7) 体育：活動することと探究することは二極化して考えられるものではない。活動をしながら探究するための仕掛けを充実させる。
- (8) 技術：（教師の解説量について）半数近くは適量としているが、同じ説明でも多いと感じる生徒、少ないと感じる生徒と意見が分かれる。課題の説明プリントへの記載を充実させることで、全体への説明時間を調整していく必要がある。
- (9) 家庭：（「探究になっていない」という自由記述に対して）授業を通して、深く考えて物事に対しての疑問点を明らかにしたり、自分の見方や考え方が正しいのかを見極める力をつけてもらいたいと考えている。生徒の考えている「探究のスタイルの授業」と担当者の意図する探究とにズレが生じていることがわかった。「探究すること」も含め、物事への取り組み方や見方・考え方を伝えていきたい。
- (10) 英語：生徒はリサーチやレポートのような分かりやすい「探究」しか、理解できていないため、自分の考え方をどう伝えるか（探究・問い）⇒実際に話す、聞く（行動）⇒相手の表現から学ぶ（振り返り）の探究サイクルを可視化させる。

4. 質問事項と結果：

紙面の都合により、回答は(1)、(5)のみ掲載しています。(1)、(5)以外の集計はホームページをご覧ください。

(1) この授業は探究活動が中心となっていましたか？（人）

科目	そう思う	ややそう思う	ややそう思わない	そう思わない	どちらともいえない／わからない
国	19	45	8	2	2
地	14	29	14	13	3
歴	72	4	0	0	1
数	41	28	4	3	1
理	62	11	2	0	1
音	10	23	28	8	8
美	18	32	18	4	5
体	32	26	16	2	0
技	17	25	17	14	4
家	16	32	19	8	2
英	24	27	10	5	10

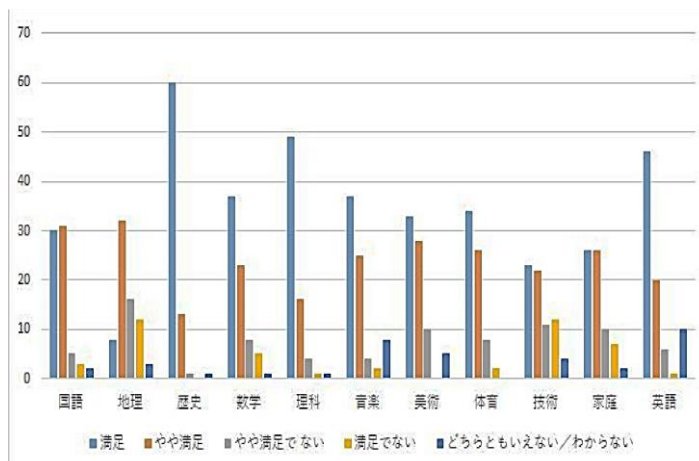


この授業は探究活動が中心となっていましたか？（人）



(5) この授業の満足度はどのようですか？ (人)

科目	満足	やや満足	やや満足でない	満足でない	どちらともいえない／わからない
国	30	31	5	3	2
地	8	32	16	12	3
歴	60	13	1	0	1
数	37	23	8	5	1
理	49	16	4	1	1
音	37	25	4	2	8
美	33	28	10	0	5
体	34	26	8	2	0
技	23	22	11	12	4
家	26	26	10	7	2
英	46	20	6	1	10



この授業の満足度はどのようですか？ (人)

高知国際中学校は、授業評価アンケート結果を受け、各教科の特性を踏まえながら、生徒一人ひとりに適切に対応できる授業を目指していきます。

令和元年度教職員等の表彰について

校長 森本 民之助

本県教育委員会には教職員等表彰の制度があります。教育活動が優れ、成果の著しい学校等及び教育関係者であって、特に功績が顕著なもの及び全体の奉仕者として他の模範になる職員を表彰するものです。本年度は本校から次の二人が表彰されました。おめでとうございます。

【勤続表彰】片岡 真希 教頭

この度、勤続表彰をいただきありがとうございます。今日まで教職を続けてこられたのも保護者の皆様のご理解ご協力、諸先輩方の指導助言があったからだと感じています。また、何よりいつも傍らで支えてくれた家族に感謝します。

【土佐の教育実践表彰】井上 祐子 主幹教諭

この度の表彰、ありがとうございます。まだまだ、なしていかないことや勉強不足のことばかり。一層努力を惜しまぬよう激励いただき身の引き締まる思いです。今後ともよろしくお願いします。

※高知西高等学校からも次の二人が表彰されていますので紹介します。

【土佐の教育実践表彰】川本 洋史 教諭

【土佐の教育実践表彰】堀地 和加 教諭

※参考

勤続表彰は、永年本県に勤続し、職務に精励した職員等に対して表彰されるものです。この表彰をされる方々の、地道で真摯な取組が本県の教育を永年支えてきました。

土佐の教育実践表彰は、日々の教育実践において地道な努力を続け優れた成果が認められる、学校における教育実践を支え教育効果を上げるために重要な力となっている、困難な職務に専念し教育効果を上げるなどに該当する職員を表彰するものです。今後のますますの活躍が期待されるものです。

後期生徒会役員決まる！

12月4日(水)、令和元年度後期生徒会役員選挙が行われました。16日(月)には後期生徒会認証式が行われ、校長より認証書が新役員一人ひとりに渡されました。また、今期で退任した前期役員には感謝状が渡され、今期で退任された前期役員の方々への慰労の言葉と、新生徒会役員の方々には、励ましの言葉がありました。後期生徒会役員の紹介は、次の中学校だより第9号に掲載します。

早いもので、今年も残り少なくなってきました。来年は干支も一周し、「子年」になります。新たな一歩を踏み出す年にしたいですね。2020年は、東京オリンピック・パラリンピックも開催されます。世界中の日本が問われる年でもあります。グローバルとは何か考えながら、皆さんにとってより良い一年になりますように。(総務 前田)

高知県立高知国際中学校
〒780-0852 高知県高知市鴨部2丁目5番70号
TEL:088-844-1221 FAX: 088-844-4823
URL: <http://www.kochinet.ed.jp/kokusai-jh/>
Email: kokusai-jh@kochinet.ed.jp



平成30年9月 国際バカロレア機構よりMYP 候補校として認定、令和元年5月 DP 候補校として認定されています。高知県立高知国際中学校・高等学校は、地域や国際社会の発展に貢献できるグローバル人材の育成を行う学校です。令和2年度中に DP 認定校となるように準備をすすめています。